

おはなしエプロン 「ももたろう」

- ・初めての方でも演じやすいように作成しておりますので原作と少し内容が違う部分もありますがご了承ください。
- ・慣れてきたらセリフや動きを増やしてみてもアレンジしてみてください。
(例：動物たちが仲間になった後『♪～ももたろうさんももたろうさん』と桃太郎の歌をうたう等)
- ・「」の部分はセリフなので手に持ちながら話すと子どもたちに分かりやすいです。鬼との戦闘シーンは動物たちのセリフはありませんがそれぞれが攻撃するシーンがありますのでその際に動かしたほうがより見ているほうも楽しいです。

◎登場人物（部品表）

ももたろう	イヌ	サル	キジ
			
おじいさん	おばあさん	ももたろう (小)	もも
			
オニ	おにがしま	たからばこ	川
			

◎シナリオ

	写真	セリフ (○) 動かし方 (★)
1		<p>○むかしむかしあるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。</p> <p>おじいさんは山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました。おばあさんが川でせんたくをしていると、</p> <p>★桃を川へ</p> <p>○ドンブラコ、ドンブラコと、大きな桃が流れてきました。</p> <p>「おや、これは良いおみやげになるわ」</p> <p>おばあさんは大きな桃をひろいあげて、家に持ち帰りました。</p>
		<p>○そして、おじいさんとおばあさんが桃を食べようと桃を切ってみると、なんと中から元気の良い男の赤ちゃんが飛び出してきました。</p> <p>★桃の中から桃太郎（小）登場</p> <p>子どものいなかったおじいさんとおばあさんは、大喜びです。桃から生まれた男の子を、おじいさんとおばあさんは桃太郎と名付けました。</p> <p>大切に育てられた桃太郎は大きく育って、やがて強い男の子になりました。</p>
		<p>★桃と桃太郎（小）をポケットへ</p> <p>桃太郎登場</p> <p>○ある日、鬼ヶ島の悪い鬼の噂を聞いた桃太郎は</p> <p>「ぼく、鬼ヶ島(おにがしま)へ行って、わるい鬼を退治します」</p> <p>おばあさんにきび団子を作ってもらおうと、鬼ヶ島へ出かけました。</p> <p>★鬼ヶ島登場</p>
		<p>★おじいさんとおばあさんをポケットへ</p> <p>イヌ登場</p> <p>○旅の途中で、イヌに出会いました。</p> <p>「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、お腰に付けたきび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p> <p>イヌはきび団子をもらい、桃太郎のおともになりました。</p>

	<p>★サル登場</p> <p>○そして、こんどはサルに出会いました。</p> <p>「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、お腰に付けたきび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p>
	<p>★キジ登場</p> <p>○そしてこんどは、キジに出会いました。</p> <p>「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、お腰に付けたきび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p> <p>こうして、イヌ、サル、キジの仲間を手に入れた桃太郎は、ついに鬼ヶ島へやってきました。</p>
	<p>★鬼と宝箱登場</p> <p>○鬼ヶ島では、鬼たちが近くの村からぬすんだ宝物やごちそうをならべて、酒盛りの真っ最中です。</p> <p>「みんな、怖がるんじゃないよ。それ、かかれ！」</p> <p>イヌは鬼のおしりにかみつぎ、サルは鬼のせなかをひっかき、キジはくちばしで鬼の目をつつきました。</p> <p>そして桃太郎も、刀をふり回して大あばれです。</p> <p>とうとう鬼が、</p> <p>「まいったあ、まいったあ。こうさんだ、助けてくれえ」と、あやまりました。</p> <p>桃太郎とイヌとサルとキジは、鬼から取り上げた宝物を元気よく家に持って帰りました。</p> <p>★鬼ヶ島と鬼をポケットへ</p>
	<p>★おじいさんとおばあさん登場</p> <p>○おじいさんとおばあさんは、桃太郎の無事な姿を見て大喜びです。</p> <p>そしてみんなであわせにくらしましたとき。</p> <p>おしまい</p>